

指導教員名	上田義明
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	自治体・県
			文化団体

～ 神戸市・須磨区への外国人観光客誘致に向けた観光政策の提言 ——「一絃須磨琴」による伝統と開発の調和—— ～

活動の様子



企画・活動概要

留学生の日本文化に対する理解を深めるとともに、留学生の視点から神戸市のインバウンド観光の振興策を提言することを目的として企画された。
具体的には、神戸市・神戸市須磨区総務部まちづくり課や神戸市経済観光局観光企画課から神戸の観光資源の魅力や観光政策の説明を受け、その後須磨寺の見学、さらに一絃須磨琴の演奏の鑑賞や体験演奏を実施。留学生にとって日本文化の一端を理解する好機になった。



講義室での一絃琴の演奏体験

経緯・背景・目的

神戸市は、外国人にとって大阪や京都・奈良さらに姫路の通過都市になっており、宿泊客が少ないことが課題である。三宮周辺の開発は進むが、神戸市西部の須磨区においては妙法寺や須磨寺は歴史的な観光資源であるが、その魅力を十分に外国人観光客に訴求できていない。
特に須磨区は、現在改築中の海の「須磨水族館」と山の「須磨寺」が共鳴すると、建設中のホテルの需要も見込まれる新たな観光地としての魅力が発揮できるとみられる。



須磨寺での報告会の様子

取り組む課題

須磨寺および須磨区に向けた外国人観光客の増加のための政策的な提言をする。



須磨寺を訪問・見学の様子

本学(学生)の役割

神戸市経済観光局からの講義を通じた情報、須磨寺の現地見学、一絃須磨琴の演奏という体験を通して、外国人から見た問題点や改善点を指摘し、インバウンド観光振興のための提言をする。



須磨寺での報告会の様子

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

1. 自らが見聞・体験した情報を整理し、魅力や課題を発見し、それを新たな提言にまとめる作業ができる能力が向上した。
2. 神戸市役所における記者クラブにおける発表会開催のプレスリリースを体験した。社会人の前で説明・質疑応答する能力の向上。



神戸市役所でのプレスリリース

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

商学部
経営学科
教授
上田義明(ウエダ ヨシアキ)

<専門・担当科目等>
企業論・アジアビジネス論・経営学入門・研究演習

<関係者・企業等>

一絃須磨琴保存会
会長
小池美穂(コイケ ミホ)

研究演習Ⅰ(単年度)留学生クラスを担当したため、アジア諸国(中国・ベトナム・インドネシア)の受講生が神戸の魅力を発見し、さらに神戸市のインバウンド観光振興について提言することを演習のテーマとして設定した。

須磨寺に伝わる一絃琴の演奏を継承する民間団体